

	<p style="text-align: center;">学校だより 12月号 令和2年12月1日 墨田区立第三寺島小学校 校長 福井 みどり 職数314名 墨田区東向島6-8-1 電話番号 03-3614-0201</p>	<p>教育目標</p> <p>☆心身ともに健康で自主協同の精神に 満ちた児童を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○じょうぶな体をつくる子 ○進んで学ぶ子 ○お互いを大切にする子 ○人のために働ける子
---	--	---



SOS に気付ける大人へ

校長 福井 みどり

いよいよ今年も残すところ1月です。街にはクリスマスのイルミネーションが見られるようになりました。でも、今年はコロナの影響で、少し寂しく感じます。連日、コロナの感染者が増え続けている様子が報道されています。三寺小学校も、三密を避け、コロナ感染拡大防止に一層努めて参ります。

さて、本校では毎年5年生で「SOS の出し方に関する教育」を行っています。「SOS の出し方に関する教育」とは、「子供が現在起きている危機的状況、または今後起こり得る危機的状況に対応するために、身近にいる信頼できる大人に SOS を出すことができるようにすること」を目的とした教育です。

この学習は、東京都教育委員会から配られた「自分を大切にしよう～不安や悩みへの対応～」のDVDを活用して行います。DVDの中で、こんな言葉が出てきます。「生まれたばかりの赤ちゃんは、どんな時も泣いて周りの人に助けを求めています。お腹が空いたよ、おむつが濡れたよと。みんな赤ちゃんのころは SOS が出せました。」不安や悩みを抱えている高学年は 71.6%というデータがあります。もしかしたらコロナ禍の中で、悩んでいる子供たちがもっと増えていることも考えられます。このDVDの最後に、不安や悩みがあるときの SOS の出し方について「少なくとも3人の信頼できる大人に相談してみましよう。」と子供たちに語りかけています。

私たち大人は、不安や悩みがある子供たちの SOS に気付くことができるでしょうか。もしかしたら「今日は、忙しいから後にして。」とか「そんなくだらないことで悩んでないで勉強しなさい。」と言ってしまいそうな自分がいます。しかし、子供は SOS を出しているのです。

もし、そんな SOS を感じたら、まずは傾聴（心を傾けて聴く）しましょう。「〇〇って思っているのね。」とそのままの言葉で返してあげることが大切です。子供たちは「ああ、分かってもらえた。」「この人なら、信じてお話できる。」と感じることでしょう。

私自身、教師として、母として、一人の大人として、子供たちの SOS に気付くことができる大人でありたいと思います。

コンクールで入賞した3名です。みなさん頑張りました。おめでとうございます。

- | | | | | | |
|-----------------|----|-----|----|-------|------------|
| ○税に関する絵はがきコンクール | 入選 | 6年生 | 金居 | 杏奈さん | |
| ○青少年健全育成作文コンクール | 佳作 | 6年生 | 栗原 | 実波さん | 「人々をつなぐ宝物」 |
| | 佳作 | 6年生 | 山縣 | 奈々羽さん | 「父のお父さん」 |

